

会社情報 (2015年9月30日 現在)

社 名 株式会社アルプス物流（証券コード 9055）
 英 文 社 名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.
 本社所在地 〒223-0057
 神奈川県横浜市港北区新羽町1756
 電 話 番 号 045-531-4133(代表)
 設 立 1964年7月2日
 資 本 金 23億4,904万円
 社 員 数 (連結)5,199名 (単独)778名
 運行車両数 (連結)3,027台 (単独)592台
 倉 庫 面 積 (連結)703,205m² (単独)231,892m²

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定 時 株 主 総 会 毎年6月
 株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 (連 絡 先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第2部
 公 告 方 法 電子公告

ご注意

- ・住所変更等のお手続きは、口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせ下さい。
- ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

IRレポート

2015年9月【第2四半期】

2015年4月1日から2015年9月30日まで

Logistics



初冬の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2015年度第2四半期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期の世界経済は、米国などの先進国が堅調に推移する一方、中国やロシアなどの新興国における景気減速が顕著となるなど、地域別に濃淡がみられました。日本におきましては、企業業績の改善や雇用情勢の好転などを背景に、景気回復が継続しましたが、新興国での先行き不透明感から、勢いを欠いたものとなりました。

このような経済環境におきまして、当社グループでは、「物流価値を活かし、グローバル成長を加速する」との基本方針のもと、今年度の重点戦略として、①「取扱物量の拡大」に向けたグローバル拡販体制の強化、ネットワーク及びシステムへの戦略投資の実行、②事業体质強化に向けた「現場革・新」の加速、③顧客の立場に立った「品質と信頼の販売」を掲げ、グローバルにビジネスの拡大を図ってまいりました。

昨今の取り組みといたしまして、国内では東北地区における保管スペース増強のため、北上営業所(岩手県)及び郡山営業所(福島県)にてそれぞれ倉庫を増築し、稼働を開始しました。また関西地区におきましては、西宮倉庫(兵庫県)を新設し、取扱貨物量の増加と輸出入ビジネスの拡大に向けたインフラ整備を行いました。一方、海外におきましては、韓国・光州倉庫の建設、タイ・バンコクでの空港事務所、ベトナムでの駐在員事務所の設立など、ビジネス拡大に向けた拠点拡充を進めました。

2015年度上期の連結業績につきましては、グローバル営業の推進によって国内・海外それぞれが売上・利益を拡大し、増収増益となりました。

下期につきましては、主要顧客である電子部品業界は、引き続き、好調が続く見通しですが、世界経済の動向は、予断を許さない状況にあります。全社一丸となって通期の計画達成に取り組んでまいります。そして来年度からの第3次中期計画での更なる成長につなげてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年11月

代表取締役社長

臼居 賢

■第2四半期累計 連結業績

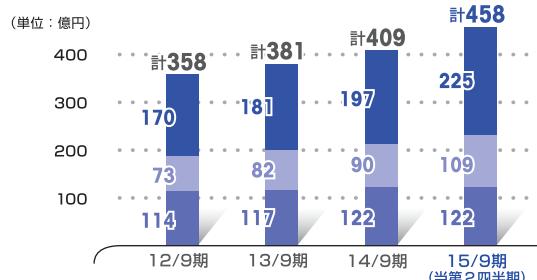
(単位：百万円)

	15年9月期	14年9月期	増減率
売 上 高	45,801	40,994	11.7%
営 業 利 益	2,185	1,984	10.1%
経 常 利 益	2,186	2,047	6.8%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,186	1,115	6.4%

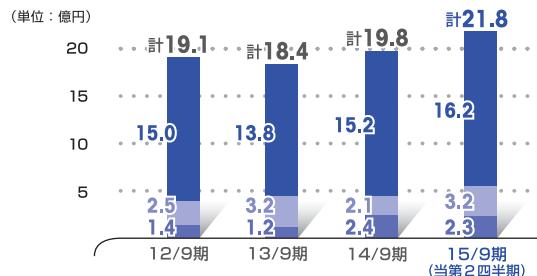
■事業別セグメントの推移

■電子部品物流事業 ■商品販売事業 ■消費物流事業

[売上高]



[営業利益]



連結業績の概況 (2015年4月1日～9月30日)



当上半期の世界経済は、国によって景気の差が大きく、緩やかな回復となりました。当社グループでは、重点施策の展開として①グローバル・ネットワークの拡充や新規市場への深耕・拡大、②生産性向上や物流技術、システムの進化、③顧客視点でのサービス向上と「絶対品質」の追求を定め、グローバルに事業活動を進めてまいりました。

連結売上高は、前年同期比11.7%増の458億円に、連結営業利益は、同10.1%増の21.8億円となりました。

■電子部品物流セグメント

主要顧客である電子部品業界では、車載市場は好調に推移しましたが、その他の市場では変動が大きくまだら模様となりました。



当上半期はグローバルな提案型営業の推進によって国内、海外それぞれが伸長し、14%の増収となりました。また、国内では倉庫の増築や新設、海外では新たな拠点の設立など、グローバル・ネットワークの拡充を進めました。

■商品販売セグメント

電子部品関連の包装資材や成形材料、電子デバイスの販売を行う当事業では、海外顧客を主とする車載関連の生産拡大に伴って売上が伸長し、22%の増収となりました。

■消費物流セグメント

当事業を担う(株)流通サービスでは、「顧客ニーズに対応した競争力のある「消費・生協物流」」を事業方針に掲げ、強みである生協物流の深耕拡販及び通販物流の新規拡販を推進しています。当上半期は、生協向けに売上を伸ばし、若干の増収となりました。



■第2四半期連結貸借対照表の要約

資産の部	15/9期	15/3期	前期末比増減額
① 流動資産	35,111	36,114	△ 1,002
現金・預金	15,830	17,784	△ 1,953
受取手形・営業未収金	15,148	14,701	446
その他	4,132	3,628	504
② 固定資産	32,642	31,230	1,412
有形固定資産	28,764	27,276	1,488
建物・構築物	9,806	9,374	432
土地	14,817	14,553	264
その他	4,140	3,348	792
無形固定資産	1,238	1,202	36
投資その他の資産	2,639	2,752	△ 113
投資有価証券	494	634	△ 140
その他	2,145	2,118	26
資産合計	67,754	67,345	409

① 流動資産

増収に伴い営業債権は増加しましたが、現預金が国内外での倉庫建設などの大型投資や納税に伴い19億円減少したことにより、前期末比10億円減の351億円となりました。

② 固定資産

有形固定資産が、主に倉庫建設の進行に伴い14億円増加しました。これにより固定資産は、前期末比14億円増の326億円となりました。

③ 負債合計

仕入債務が増収に伴って6億円増加しましたが、長・短期借入金の減少3億円、未払法人税などその他流動負債の減少5億円等により、負債合計は前期末比2億円減の235億円となりました。
なお、有利子負債の残高は42億円となりました。

負債の部	15/9期	15/3期	前期末比増減額
流動負債	17,573	17,610	△ 36
営業未払金	9,343	8,727	616
短期借入金	2,456	2,547	△ 90
その他	5,773	6,335	△ 562
固定負債	6,019	6,281	△ 262
長期借入金	1,828	2,059	△ 231
その他	4,191	4,222	△ 31
③ 負債合計	23,593	23,892	△ 298
純資産の部			
株主資本	37,462	36,679	783
(うち、資本金)	2,349	2,349	—
その他の包括利益累計額	1,735	1,682	53
新株予約権	20	16	4
非支配株主持分	4,942	5,074	△ 132
④ 純資産合計	44,160	43,452	707
負債・純資産合計	67,754	67,345	409

④ 純資産合計

利益確保に伴う株主資本の増加7億円に加え、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増や、非支配株主持分の減などにより、純資産合計は前期末比7億円増の441億円となりました。また、自己資本比率は57.9%となりました。

財務指標	15/9期	15/3期	前期末比増減
自己資本比率(%)	57.9	57.0	0.9
1株当たり純資産(円)	2,214	2,167	46
ROE(自己資本利益率)(%)	6.1	6.9	△ 0.8
ROA(総資本利益率)(%)	3.5	3.9	△ 0.4

※15/9期のROE、ROAは年率換算して算出しています。

連結財務諸表

■第2四半期連結損益計算書の要約

(単位：百万円)
[15年4月～9月]

科目	15/9期	14/9期	前年同期比増減額
① 売上高	45,801	40,994	4,807
売上原価	40,284	36,064	4,219
販売費及び一般管理費	3,332	2,944	387
② 営業利益	2,185	1,984	200
営業外損益	1	62	△ 61
経常利益	2,186	2,047	138
特別損益	△ 21	△ 1	△ 19
税金等調整前四半期純利益	2,165	2,045	119
法人税等	733	710	22
非支配株主利益	245	219	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,186	1,115	71
(参考) 包括利益	1,537	855	682

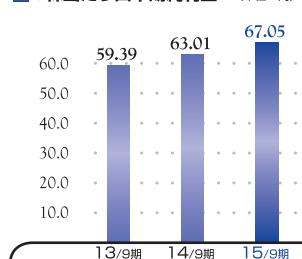
1 売上高

電子部品物流事業では、グローバルに新規・深耕拡販が進み、また商品販売事業では、車載関連の需要が増加し、それぞれ売上を伸ばしました。連結売上高は前年同期比48億円(11.7%増)の増収となりました。

2 営業利益

電子部品物流事業及び商品販売事業が、それぞれ増収効果によって利益を拡大しました。連結営業利益は、前年同期比10.1%増の21億円となりました。

1 株当たり四半期純利益



■第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要約

(単位：百万円)
[15年4月～9月]

科目	15/9期	14/9期	前年同期比増減額
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,373	2,647	△ 1,273
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,067	△ 538	△ 1,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,321	△ 1,170	△ 151
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	△ 244	352
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,908	693	△ 2,601
現金及び現金同等物の期首残高	17,528	14,233	3,294
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,620	14,927	693
(参考) フリー・キャッシュ・フロー	△ 694	2,108	△ 2,802

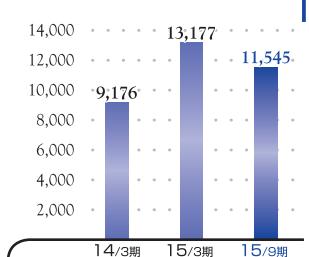
1 営業活動によるキャッシュ・フロー

「税金等調整前四半期純利益」の確保などにより、13億円の収入(その他負債の支払い増などにより、前年同期比12億円の収入減)となりました。

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得などで20億円の支出(国内外3倉庫の建設など大型投資により、前年同期比15億円の支出増)となりました。

ネット・キャッシュ



(注)ネット・キャッシュ=現金・預金-借入金

● 関西地区の保管能力を増強

当社は関西地区における保管スペースの増強と、輸出入業務の拡大を目的として2015年10月、西宮倉庫（兵庫県西宮市）を新設しました。



「GLP鳴尾浜」の5Fに入居

新倉庫の規模は約5千m²で、関西地区の倉庫面積は、既存の2営業所（茨木市、東大阪市）と合わせ約25千m²となりました。

西宮倉庫は、阪神高速のICに隣接し、また大阪港・神戸港にも至近という好立地にあります。輸出入貨物の取扱い拡大や、西日本ネットワークの強化にもつなげてまいります。

● メキシコにおける事業体制を強化

昨今、米国及びメキシコでは車載関連製品の生産需要が高まっております。当社は昨年、米国のマッカレン倉庫及びメキシコのレイノサ倉庫にて、各々約3千m²の倉庫拡張を行い、貨物の増加に対応してまいりました。



レイノサ倉庫

加えてアルプス・ロジスティクス・メキシコでは、メキシコ中西部の中央

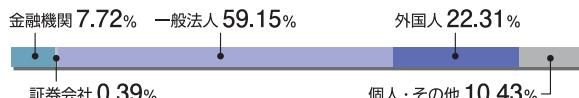
イラパト支店

高原に位置するグアナファト州イラパトに支店を開設しました。同地区では、自動車関連企業の進出が増えており、今後のメキシコにおける車載関連ビジネスの受託拡大を目指し、拡販活動を強化してまいります。

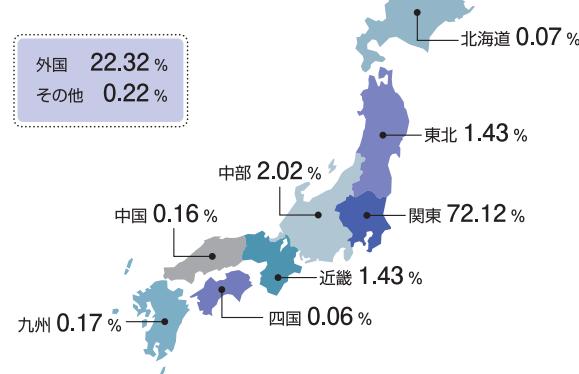
■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 … 70,000,000 株
- 発行済株式総数 … 17,737,200 株
- 株主数 … 2,337 名

■ 所有者別株式分布状況



■ 地域別株式分布状況



■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプス電気(株)	8,263	46.7
ビビーベイオーフィデリティーローブラスト・ストックファンド	1,582	8.9
TDK(株)	1,402	7.9
アルパイン(株)	396	2.2
日本トラスト・サービス信託銀行(株)(信託口)	393	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。